

**感動
県政**

あさのめ新聞

埼玉県議会活動日記(ブログ) 2011.03.30 第1021

浦和駅東口

16時から、
浦和駅西口
うなこちゃ
ん前でわ
れた、東北
地方太平洋

涙を流しながら
「よろしくお願いします」
という方もいました。

浦和駅西口

地方太平洋沖地震
被災者救済基金
東京地権者本部・仮設支部

10時頃から、さいたまスーパーアリーナに避難されている方々を受け入れている件について、山県都市整備政策課長からヒアリング。毛布は提供。食事は各自で」という県の対

与野駅東口

与野駅東口

今日は、避難者の心の支えであるペットについての問い合わせ頂く。

避難者受入は、県の対応も市町村対応も基本的には公共施設。一緒に連れて逃げてきたペットと生活できる空間はわざわざかりたくない。

ペットと一緒に住める希望を聴き、可能性のある場



医師会の先生と話し合う

2011/03/27

医師会の先生と話し合う

「今後は統一して、やって引き継いでいくのか。医療は継続だ。こちらで」入院している人、リスクの高い人など課題が残る」。



あさのめ ◆プロフィール◆ 浅野目 義英

◆昭和33年5月27日東京生。◆山形県米沢市育ち。◆4歳の時埼玉県へ。◆法政大学社会学部卒。◆小学校教師を経る。◆隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。
◆市議4期(25～41歳)。◆37歳で全国最年少議長。◆上尾市長選挙次点敗退。◆その後予備校講師、武正公一衆議院議員政策秘書など、政治浪人7年余を経て、埼玉県議会議員当選。
◆妻 智子との間に一男一女。◆缶コーヒーのおまけのミニカー集めが趣味。

2007.10.02
あさのめ
県議会質問

埼玉県庁 地震防災の指揮所としての機能 早急に固めよ！

あさのめ M7級地震が首都圏で30年以内に発生する可能性70%。政府は18パターンの首都直下型地震を想定。被害のレベルをシミュレーションしている。埼玉県で死者が出るもの8パターンもある。しかもHP上にこうコメントされている。「荒川沿岸部は軟弱地盤が広範囲に分布。地震動が地表で増幅されやすい。液状化発生しやすい。同程度地震が他の地域で起きた場合に比べ大きな被害が想定」県民の命と財産を守り抜くため地震対策を完全なものとする。こと論を待たない。しかし、他の都道府県に比し対策にかなり差をつけられている。そもそも地震対策の県の真剣な意気込みが伝わっていない。

トップには、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のバナー」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件11年間約576万件ものアクセスがあるこのHPに、いったん危機となれば、安全情報を求め膨大なアクセスが殺到するはず。バナーを貼り県民に防災情報の門戸広げるべき。

答弁 今後速やかに作成する。

あさのめ ①県の顔と言える埼玉県HPの

単なる幻想、意識改革必要。

「埼玉県は災害が少なく安全」とよく語られる。しかし、科学的データも根拠も全く聞いたことがない。

県庁所在地で、今後30年以内に震度6以上の地震が起きる可能性は第3位だ。

県ホームページに災害情報のバナーがなかった。県庁自体が一気に立ち返るBCPもなかった。全て改めるよう直言し実現させた。

命を守る気迫をこれから県に求め続けていきたい。

埼玉県は本当に安全か？

都道府県	震度6以上の可能性
東京都	32.9%
神奈川県	27.2%
千葉県	12.1%
埼玉県	11.4%
東京都	6.3%
千葉県	0.5%
埼玉県	0.3%

実現!!

今まで無かったのが信じられませんが、わずか2年で40万アクセス！どんなに県民の安心感に寄与しているのかと思います。

星野さん

あさのめ ②本庁舎は築55年、耐震強度は0.16。0.3未満で倒壊の可能性が高くなる。これで防災の中枢機能果たせるのか。対策の指揮所であるはずの埼玉県庁本庁舎の耐震能力は著しく低い。耐震強度算定の基礎データである、コンクリート強度または中性化の数値明らかに。

答弁 「議事堂を除き県庁舎全てが強度不足」という診断結果だ。コンクリート



あさのめ ③本庁舎、第二庁舎、第三庁舎、これらをコネクする「渡り廊下」三本の連絡橋の耐震強度は調査していないのでは。この部分の耐震強度を明らかに。

あさのめ ④現状、防災行政無線室は第2庁舎8階、災害情報連絡室は同3階、庁議室は本庁舎2階。連絡調整の部屋が第2庁舎301会議室、警察消防自衛隊などとの連絡調整部屋は狭小で劣悪。テクノロジーとは縁遠く、ハイパフォーマンスとは言い難い。これで十分機能していくのか。

あさのめ ⑤分散タコ足で動線考ると、連絡調整や情報収集に時間がかかり過ぎるはず。加えて、第2庁舎の各部屋などには、内部のパーティションがひしゃげ、積み上げてある荷物がひっくり返ることよく予想できる。指揮所と呼ぶにふさわしい災害対策本部を一カ所に置き機能を集中させるべきではないのか。

答弁 災害対策本部として必要な機能、集約化につき庁内検討会を設置。現在検討を進めている。

↓ 実現!!

県防災センター建設へ

県庁隣接地 地震対策を強化

20.7.25

米年度予算計上めざす

災害状況をスクリーンで共有できる設備さえ、県で持ち合わせていなかったのは驚きです。県全体をカバーする地震などの防災のコントロールタワーが完成して安心です。多くの命が救われることになると思います。

田中君



県防災センター 平成23年3月、浦和区に完成した。

埼玉県議会議員 浅野目(あさのめ)義英 事務所

〒330-0043 埼玉県さいたま市浦和区大東 1-11-1-501

TEL: 048 (883) 6560 FAX: 048 (883) 0527

<http://www.asanome.com>

携帯サイト: www.asanome.com/mobile/

← twitter で y_asanome をフォローしましょう！



ブログはこちら